



胃もたれ・胸やけ



検査をしても原因が見つからないのに胃の不調がつづく、胃薬でも治らない…

今まで『慢性胃炎』と診断され、「気のせい」だと治療の対象にならなかったこともあります。

しかし、最近では病気の常識が変わり原因が解明、新しい検査法や治療薬も登場してきています。

治らないと諦めていた方、気になる症状がある方、検査&治療してみませんか??

○病気を知ろう その1：症状

『機能性ディスぺプシア』 …… 2013年までは「神経性胃炎」「慢性胃炎」と診断されていました。
炎症がないにもかかわらず胃の機能に異常が生じることによって
「胃もたれ」「早期満腹感」「胃痛」など、みぞおちを中心とする症状が起こる。
また週に2～3回以上、慢性的なもの(食べすぎなどの一時的なものではない)

『胃食道逆流症』 …… 胃酸や胃の内容物が食道に逆流して起こる。
「胸やけ」「吐き気」「胃酸の逆流感」「呑酸(すっぱいものが上がってくる)」など。
内視鏡検査により食道にびらん(ただれ)があるタイプとないタイプの2つに分かれます。
食道に炎症や異常がない→非びらん性逆流症 …… 若い人、女性に多い傾向
炎症やびらん(ただれ)がある→逆流性食道炎 …… 中高年、男性に多い傾向

○病気を知ろう その2：原因

『機能性ディスぺプシア』 …… 胃の知覚過敏。
胃の運動を担う自律神経がストレスなどで乱れるため起こる運動機能異常。
胃酸の刺激に敏感になり、胃の動きは悪くなる。
ストレスに加えて、不規則な生活やピロリ菌なども不調の原因に。

『胃食道逆流症』 …… 食道の知覚過敏。
食道と胃の境目にある筋肉が緩んだり、胃酸の量が多いことによる運動機能異常。
上記と同じストレスからの自律神経の乱れに加え、姿勢や食事の質などの生活習慣や、
胃の形や胃酸の量、妊娠・肥満などの体質も原因に。

このようは症状があると生活の質に大きく影響します。

みんなで楽しく食事のはずが食べられない、好きなものはずなのに美味しくくない。

胸やけのせいで仕事や勉強に集中できない、気分が落ち込む、睡眠の質も悪くなる…などの悪循環に。

「胃カメラは苦しい、怖い!!」いいえ、寝ている間にすぐ終わります。

『胃潰瘍』『ピロリ菌』『食道がん』等の早期発見にもつながるので、
気になる症状は我慢せずに早めの受診をお勧めします。

さて、食欲の秋ですし、

元気な胃袋を持って、旬の味覚で季節を愛でましょう。

ただし、「ゆっくりよく噛んで、腹八分目」胃に負担のないように☆

